

1 メイン化の必要性

最近の金融情勢から

わが国では、少子高齢化が進行するとともに人口減少局面に入っています。それに伴い、長期的に金融資産市場の規模が縮小に向かうことが予想されています。それは、将来にわたり、J Aの信用事業を利用されるお客様が総体的に減っていくということを意味しており、当然、今以上に金融機関の競争が激しくなっていくということです。

また、日本銀行が平成28年2月に導入したマイナス金利政策により、貸出金・国債等の利回りは低下しており、地域金融機関を中心に経営収支への影響は大きいものとなっています。お客様の暮らし（家計）に目を向けると、貯金の利息が減り、一方で、住宅や自動車購入などの際のローン金利が低くなること、投資信託や外貨預金等の金融商品の魅力が増すことなどから、貯蓄や投資への意識が変化しています。

今後の政策次第ではありますが、マイナス金利が長期化することも想定した取組みが求められており、お客様のニーズの変化、近隣の他金融機関の経営・戦略の変化に敏感に反応することが必要です。

このような環境にあって、J Aが持続していくためには、メインバンクとしてお客様に選んでいただくことが大切になります。そのためには、窓口担当者の適宜適切なセールスが欠かせません。



2 メイン化とは

「メイン化」とはお客様から「メインバンク」として選ばれることです。言い換えると、家計におけるお金のフロー（収入・支出）とストック（貯蓄）を、各種金融商品や機能・サービスによってできるだけ多くご利用いただくということです。さらに、生涯にわたり、お客様のライフステージに応じて取引を継続・拡大していただくことともいえます。

メイン化を推進するためには、次の ～ を押さえたうえで、複合的に利用していただくことを意識しましょう。

決済口座としてのメイン化（当座性）

普通貯金の入金と出金の機能を使い、自動的に「入る」と「出る」のパイプを数多く付けることが「決済口座としてのメイン化」です。まず、家計の入口（収入）を確保します。つまり給与振込、年金受給、配当金受取のための「普通貯金」口座の開設です。次に、家計の出口（支出）を確保します。つまり、公共料金や税金・保険料などの自動振替、積立・財形貯蓄、クレジットやローンの引落としなどの取引の、貯金口座へのセットです。

お客様のメリットとしては、取引を集中することで、家計の管理がしやすくなる、各種キャンペーンの案内を受けやすくなる、などがあります。JAとしては、自動受取や自動振替は、一旦、口座指定をされると取引が長く続く可能性が高くなり、事務の軽減にもつながります。また、お客様のライフスタイルなどの取引拡充につながる情報が入手しやすくなるというメリットがあります。

貯蓄口座としてのメイン化（固定性）

健全な生活を実現するためには貯蓄が必要です。それには、定期貯金や定期積金が最適でしょう。普通貯金から自動的に・定期的に積立をする、また、さらに金利の高い定期貯金へ振替えをするなど、安全、有利に増やす貯金を一つの金融機関にまとめることが「貯蓄口座としてのメイン化」です。

貸入先のメイン化（貸出）

ローンのセールスは、貯金と違い、誠実で堅実な考え方で、約束を守って返済することができるお客様にご利用いただくことが前提となります。したがって、ローンを利用するお客様は、「収入が安定している」「家計が安定している」などから、信頼性が高く、安定的な取引が期待できます。

1年間を改めて考えてみると、月ごとに微妙に生活の仕方が違ってきます。お客様の暮らしの中にも1年を通じてお金の流れがあります。キャンペーンだけでなく、暮らしの中のお金の動きを意識して、店頭でのセールス活動を行いましょう。ここから、月ごとの家計や季節の話題について確認します。

1 1月のポイント

年始のご挨拶に来店されるお客様が多いはずですが、他の金融機関へのご挨拶も同時に行うケースも多いでしょう。他金融機関との差別化の好機と捉え、支店長や役職者との連携も密にして、心のこもった、感じのよい対応をしましょう。

マネーアドバイス

- ☑「一年の計は元旦にあり」ということで1年のライフプランを立てられるお客様も多いはずですが、農家では耕地利用の年間計画や野菜の作付計画なども行う時期です。今年の計画等についてお尋ねすることをきっかけに、お客様とのコミュニケーションを温め直しましょう。
- ☑年頭にあたり計画的に貯蓄を始めたいと思うお客様も多いでしょう。口座振替の利便性をアピールし、給与振込や年金振込指定のあるお客様を中心に定期積金などをご案内しましょう。

季節のトーク例

「新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします」

「初詣はどちらかへ行かれたのですか？」

「寒い日が続きますね」

一般的な季節の行事

1日	元旦	8日	成人の日（2018年）
2日	初荷、初夢、書初め、初湯、皇居一般参賀	11日	鏡開き、蔵開き
4日	公務員（官公庁）仕事始め	13日	大学入試センター試験（2018年）
5日	小寒（2018年）	14日	大学入試センター試験（2018年）、お年玉年賀はがき抽選日（2018年）
7日	七草	15日	小正月
8日頃	学校始業	20日	大寒（2018年）